

森の芸術祭 岡山

FOREST FESTIVAL OF  
THE ARTS OKAYAMA

森の芸術祭 晴れの国・岡山

無料

# サンドラ・シントさん によるアーティスト・トーク

2025/6/25 Wed. 13:30-15:00

地域文化アドバイザー

地域文化アドバイザー

サンドラ・シント / 太田 三郎 / 岸本 和明  
(美術家) (奈義町現代美術館館長)

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」2024の参加アーティストのサンドラ・シントさんが、森の芸術祭地域文化アドバイザーのお二人を交え、アートや作品への思いを語ります。

サンドラさんは、現在、奈義町現代美術館に併設された図書館にて、奈義町の子どもたちと共同で新作の壁画を制作するプロジェクトを進めています。

会場 | 奈義町現代美術館  
勝田郡奈義町豊沢441

定員 | 先着30名程度(電子申請でお申し込みください。)

電子申請はこちらから



[https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=48743](https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=48743)

サンドラ・シント(Sandra Cinto)

1968年ブラジル生まれ。サンパウロ在住。

ドローイングを出発点に、建築や彫刻、絵画、インスタレーションなどを作品に取り入れることで言語の限界を探る試みを続けている。銀座メゾンエルメスフォーラムやイタウ・クルトゥラウ(2020年)、ダラス美術館(2019年)、シンシナティ現代美術センター(2017年)などで個展を開催。イノチン、MAC/USP(サンパウロ大学現代美術館)、サンパウロ州立美術館ピナコテカ、MASP(サンパウロ美術館)、MAM(サンパウロ近代美術館)、MAR(リオ美術館)、ワシントン・ナショナル・ギャラリー、ニューヨーク近代美術館、オルブライト=ノックス美術館、ガリシア現代美術センター、ダラス美術館などに作品が収蔵されている。2024年8月末には、7年間に及ぶプロジェクトの成果として、これまで最大規模となる作品(音響的效果を備えた2点のモニュメンタルなタペストリー)がサンパウロの文化芸術劇場(Teatro Cultura Artística)の大コンサートホールでお披露目された。

©FilipeBerndt